※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	作曲	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■　作曲や楽曲分析に必要な最低限の音楽理論を復習しながら進める。
■　自分が好んで聞く楽曲の分析を通して、なぜ自分が好むのか考え、作曲活動に活かす。
■　パソコン操作技術などの習得を同時に行いながら、作曲の学習を効率よく取り組めるようにする。
■　学習の到達度は、提出作品や授業で配布・回収するワークシートで評価する。

2　学習の到達目標

個性豊かな表現の能力を高め、主体的に課題に取り組む姿勢を育む。様々な表現活動、表現技法を身につけて、自己の内面を作品に反映させる学習活動に取り組む。
a:作曲に特に必要な楽典の基本的な知識を再認識し、和声進行の基本と和音とメロディーの関係をわかるようになることで普段聴いている曲がなぜ、魅力的なのかを理解する。
b:自分がよく聴く曲の楽曲分析を参考にしながら、自らメロディーと伴奏を作ることを目標とする。
c:受講生全員の趣向する音楽作品に興味を持ち、また、その作品に影響を受けている様々なジャンルの音楽を学び、学習したことを自分の作品に活かす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・作曲に関する技法の基礎となる音楽理論をその必要性を理解させるとともに、体得できるようにする。 ・和音とメロディーの関係、メロディーの流れの基礎を理解させる。 ・楽曲分析を通して和音進行とメロディーの特徴を理解し、自分の作品に活かす。 ・コンピュータやソフトの基本的な使い方をマスターしている。	・音階や和音の構成と人が感じる感じ方を体感し、作曲課題を作成する上での参考とできる理解ができている。 ・音階や和音の構成と人が感じる感じ方を作曲課題で効果的に使用し、自分なりの作品を作っている。	・前向きに、積極的にかつ地道に学習し、個性的な作品を作ろうと努力している。 ・作品について、様々な立場の人の作品に対する意見をいったんは受け入れ、それらを活かしてより良い作品を作ろうとしている。 ・他者の作品や好む楽曲について自分なりの意見や感想を持てている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	作曲の基礎①	音楽理論 ①音程 ②音階 ③和音	a:楽譜（音程・音階・和音）の情報について理解し、楽譜に正確に描くことができる。 b:楽譜に記譜する際に道筋を理解して説明することができる。 c:音を楽譜上に表現するための規則とそれが表現する音楽とのかかわりに興味・関心をもっている。	・課題プリント ・確認テスト ・観察	・課題プリント ・確認テスト	・課題プリント ・確認テスト ・観察
	メロディーの作曲①	提示された和音進行を元に自分なりのメロディーを作成する。	a: 和音とメロディーの関係、メロディーの流れの基礎が理解できている。それらを自分の作品で活かしている。 b: 音階や和音の構成と人が感じる感じ方を作曲課題で効果的に使用し、独創的で自分なりの作品を作っている。 c:積極的に課題に取り組み、アドバイスを素直に受け入れ、自分の作品に活かしている。地道に活動している。	・課題プリント ・観察 ・活動記録	・課題プリント ・観察 ・活動記録	・課題プリント ・観察 ・活動記録
２学期	作曲の基礎②	音楽理論 ④和声音・非和声音について	a:メロディーの和声音等の情報について理解し、楽譜に正確に描くことができる。 b:楽譜に記譜する際に道筋を理解して説明することができる。 c:音を楽譜上に表現するための規則とそれが表現する音楽とのかかわりに興味・関心をもっている。	・課題プリント ・確認テスト ・観察	・課題プリント ・確認テスト	・課題プリント ・確認テスト ・観察

※令和４年度以降入学生用

	楽曲分析	生徒たちが選択した曲の楽曲分析を行う	a：和音進行とメロディーの特徴を理解し、各和音進行や和音の効果を体感し、理解している。 b：音階や和音の構成と人が感じる感じ方を体感し、作曲課題を作成する上での参考とできる理解ができている。また、自分なりの使い方を予想している。 c：前向きに、積極的にかつ地道に学習し、個性的な作品を作ろうと努力している。 ・作品について、様々な立場の人の作品に対する意見をいったんは受け入れ、それらを活かしてより良い作品を作ろうとしている。 ・他者の作品や好む楽曲について自分なりの意見や感想を持てている。	・課題プリント ・観察	・課題プリント ・観察	・課題プリント ・観察
	作曲課題	楽曲分析を元に曲を創作する	a：和音進行とメロディーの特徴を理解し、各和音進行や和音の効果を理解して、取り入れている。 b：音階や和音の構成と人が感じる感じ方を体感し、効果的な表現になるように適切に配置し、効果をあげている。 c：前向きに、積極的にかつ地道に学習し、個性的な作品を作ろうと努力している。 ・作品について、様々な立場の人の作品に対する意見をいったんは受け入れ、それらを活かしてより良い作品を作ろうとしている。 ・他者の作品や好む楽曲について自分なりの意見や感想を持てている。	・課題プリント ・作品	・課題プリント ・作品	課題プリント

※令和４年度以降入学生用

３学期	発表会に向けて	完成した楽曲をコンピュータソフトに入力し、発表会を行う	a: コンピュータやソフトの基本的な使い方をマスターし、正確に入力している。 b:表現豊かな演奏になるように強弱や音価、パートの音量調整などが丁寧に行われている。 c: 前向きに、積極的にかつ地道に学習し、個性的な作品を作ろうと努力している。 ・作品について、様々な立場の人の作品に対する意見をいったんは受け入れ、それらを活かしてより良い作品を作ろうとしている。 ・他者の作品や好む楽曲について自分なりの意見や感想を持てている。	・作品 ・感想プリント ・観察	・作品 ・感想プリント ・観察	・感想プリント ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度